

平成31年 4月 1日から  
令和 2年 3月31日まで

第46期（令和元年度）

事業報告書  
財産目録、貸借対照表  
損益計算書、剰余金処分案

千葉県自動車整備商工組合

# 令和元年度 事業報告

平成31年4月 1日から  
令和 2年3月31日まで  
千葉県自動車整備商工組合

## I. 事業活動の概況に関する事項

### I-1. 概 要

令和元年度のわが国の経済は、年前半は緩やかな回復基調が続いたものの、10月以降は、消費税増税や自然災害の発生、そして年度末に発生した新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各種イベント開催や外出の自粛等により、個人消費は落ち込み、特に観光業や飲食業には大きな影響をもたらし、日本はもとより世界の経済は急激に悪化しました。政府には、より効果的な経済対策を策定し、景気回復を強く期待するものであります。

このような中、同年度の新車販売台数は、登録車が前年より4.6%減の318万3千台、軽自動車3.5%減の185万5千台、合わせて前年比4.2%減の503万8千台と前年より22万台の減少となりました。

一方、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会の「平成31年度自動車分解整備業実態調査」結果によると、総整備売上高は5兆6,216億円となり、前年度と比較すると1.7%増と3年連続の増加となりました。作業内容別では「車検整備」が0.9%増、「定期点検整備」が3.4%増、「事故整備」が5.3%増、「その他整備」が0.1%増となりました。整備要員数は少子高齢化の影響も加わり0.1%減、整備士数についても0.5%減となりました。また、自動車保有台数は微増を続けているものの、今後も大きな増加を望めるものではなく、整備業界を取り巻く環境は、依然として厳しいものがあります。

このような時代環境にあって、商工組合が実施した令和元年度の具体的事業につきましては、先ず、総務委員会担当事業として、組織運営対策については、経営環境が日々変化する中、事務局機能をより効率的に運営するため、職員全体研修会の開催や上部団体の開催する各種研修会に職員を積極的に参加させるなど職員の能力向上を図ると共に部署間の連携を密にし、職員が様々な業務を兼務、協力する体制を整えてまいりました。

また施設の効率的な利用を目的として、既存の教育センター解体後の土地を駐車場として活用するために振興会と協力し、職員の建替え実行プロジェクトに参加し検討を重ねてまいりました。一方、昨年4月には「軽自動車習志野予備検査場」の開設に向けて、近隣に土地を取得いたしました。事務所の設計や詳細な工事内容等については引き続き検討してまいります。

そして情報化推進対策としては、経営環境、雇用関係の変化に伴う関係法令や千葉県の実施する制度融資など企業にとって有用な情報を収集し、広報誌「轟」へ適宜掲載をいたしました。

次に、事業委員会担当事業については、事業経営基盤強化対策として各種キャンペーンや展示会を開催し、機械工具、用品、オイル等の拡販に努めてまいりました。また、社会問題となっている高齢者のペダルの踏み間違いによる事故を防止する、後付け装置の研究を行い、新商品としての取扱いを開始いたしました。さらに組合員メリットの研究では専門家を交えて組合員と非組合員との差別化を図る上で組合員カードの導入を視野に検討してまいりました。また共済事業では受託車保険の自然災害に対応するオプション契約の加入を推進すると共に、台風被害による保険請求に対しては保険会社との連携を図り迅速な対応に努めてまい

りました。事業経営支援対策としましては、E T Cの普及促進キャンペーンやスキャンツールによる故障診断時の有償セミナー、エアコンリ

フレッシュの提案セミナーを開催するなど新たな収益確保の機会として提案を行いました。さらに環境安全対策として、使用済み自動車や廃バッテリーの回収業者を斡旋し環境保全に努めました。

次に、千葉県自動車大学校の運営につきましては、新しく「カーメカトロニクス科」を開設し、自動運転技術や運転支援などについて教育を行い、先進技術に対応する人材の育成と、他校との差別化に努めてまいりました。また、入学者の確保が非常に難しい時代にある事から、将来に向けた人材の確保に繋げるため、中学生以下を対象とした「CATSカーフェスティバル」の開催や、新たに留学生の募集に関しての調査、さらに学生が高等教育支援制度を受けられる学校としての申請を行うなど学生の募集活動を広く実施してまいりました。また創立50周年記念事業と、それに合わせた既存の建物のリニューアルにつきましては教育棟と実習場を有効活用できるようまた、イメージアップに繋がるように具体的に検討いたしました。

以上の諸事業につきましては、関係官庁、関係団体のご指導をいただいて実施してまいりました。

ここに、令和元年度事業の報告と財務諸表につき後記の通りご報告申し上げますと共に組合員各位のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

## I - 2. 事業の実施状況

### 総務委員会担当事業

#### 1. 組織運営対策

##### (1) 総代会の開催（1回）

###### ① 元年. 5.29（第1回）

1. 平成30年度事業報告並びに収支決算（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）承認について
2. 令和元年度事業計画案並びに収支予算案について
3. 役員報酬について
4. 融機関からの借入金残高の最高限度額決定について
5. 一組合員に対する貸付残高の最高限度又は一組合員の為にする債務保証金残高の最高限度について
6. 任期満了に伴う役員の改選について
7. 連絡報告事項

##### (2) 理事会の開催（6回）

###### ① 元年. 5. 9（第1回）

1. 平成30年度事業報告並びに収支決算（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）承認について
2. 大学校実習場へのリフト設置について
3. 任期満了に伴う役員の改選について
4. 第45回通常総代会に提出する議案の審議について
5. 第45回通常総代会の会期日、場所決定について
6. 連絡報告事項

###### ② 元年. 5.29（第2回）

1. 理事長、副理事長、専務理事、常務理事の選任について
2. 連絡報告事項

###### ③ 元年. 6.20（第3回）

1. 顧問の委嘱について
2. 連絡報告事項

###### ④ 元年. 11. 8（第4回）

1. 令和元年度上期事業報告並びに収支決算について
2. 大学校創立50周年記念事業について
3. 連絡報告事項

###### ⑤ 2年. 2.15（第5回）

1. 学校法人日整学園における学校法人日栄学園からの経営支援に伴う報告と役員の兼任について

###### ⑥ 2年. 3.24（第6回）

1. 令和2年度事業計画案並びに収支予算案について
2. 土地の賃貸借契約の更新について
3. 連絡報告事項

(3) 監事会の開催 (4回)

- ① 31年. 4.26 (第1回)
  - 1. 平成30年度期末決算について
- ② 元年. 9.30 (第2回)
  - 1. 令和元年度9月末印紙類監査について
- ③ 元年. 10.29 (第3回)
  - 1. 令和元年度9月末現在(上期)決算について
- ④ 2年. 3.31 (第4回)
  - 1. 令和元年度3月末印紙類監査について

(4) 正副会長・理事長会議の開催 (3回)

(5) 正副会長・理事長・委員長会議の開催 (3回)

(6) 各種委員会の開催

- ① 総務委員会 (3回)
- ② 事業委員会 (3回)
- ③ 教育委員会 (4回)

(7) 正副ブロック長会及びブロック会の開催

- ① 正副ブロック長会 (1回)
- ② 千葉ブロック会 (6回)
- ③ 北総ブロック会 (5回)
- ④ 習志野ブロック会 (5回)
- ⑤ 野田ブロック会 (5回)
- ⑥ 袖ヶ浦ブロック会 (7回)
- ⑦ ディーラーブロック会 (7回)
- ⑧ 自家整備ブロック会 (3回)

(8) 地区・ブロック活動への協力

各種会議、研修会等に参加し、地区・ブロック活動の円滑化に協力した。

(9) 役員・委員等研修会の開催

① 新役員業務説明会

新たに就任した理事、監事に対し商工組合の組織、団体運営、規約等の基本知識と団体リーダーとしての役割について研修を実施した。

② 役員・委員等研修会

役員・委員・地区長等に対し研修会を開催し、団体リーダーとしての資質向上を図った。

(10) 退任された役員・委員への感謝状等の贈呈

- ① 任期満了により退任された役員・委員に対する感謝状贈呈式並びに新旧役員懇親会を開催した。
- ② 退任された役員に対して感謝状及び記念品を贈呈した。

③死亡により退任された理事1名のご遺族様に対し御礼品を贈呈した。（令和元年11月）

(11) 事務局機能の充実・向上と効率的な運営の推進

- ①消費税増税に伴い消費税の基礎知識から具体的な取り扱い方法等について、全職員を対象に研修会を開催した。
- ②事務局職員を必要な各種研修会、講習会に参加させ事務局機能の充実強化を図った。
- ③事務局職員の就業規則を一部改正し、平成31年4月1日から順次施行の「働き方改革関連法」に対応するとともに、新たに導入された時間外労働の上限規制を遵守する体制づくりに努めた。

(12) 自動車法制・税制改正についての情報収集及び対応

道路運送車両法、道路交通法の改正案（特定整備関連等）や国土交通省、経済産業省等各省庁が発表した令和2年度税制改正要望等、さらには、自民党・公明党が発表した税制改正大綱等の情報の収集に努めた。

(13) 教育センター建替え実施に向けた対応

振興会で進めている教育センター新築と同時進行で、建築後の既存建物の取り壊しや外構工事の実施と今後の運用方法等、具体的に検討を行った。

(14) 軽自動車習志野予備検査場施設の設置に向けた対応

軽自動車検査協会千葉事務所習志野支所の移転に伴い、予備検査場の同時オープンを目指し、土地（建築条件付）の購入先である広島建設株式会社と設計の概要や今後のスケジュール等、具体的な打合せを実施、さらに、事務局担当者により、開設後の運用方法等について検討を行い設置に向けた準備を進めた。

(15) 表彰業務の実施

- ①陸運関係功労者関東運輸局長表彰
- ②陸運関係功労者千葉運輸支局長表彰
- ③陸運関係功労者国土交通大臣表彰
- ④陸運関係従事者関東運輸局長表彰（職員）
- ⑤陸運関係従事者千葉運輸支局長表彰（職員）

(16) 自動車業界関連団体、関係業界との連携・協調

業界の共通諸問題への対応の為、関係団体、業界と緊密な連携、協調を図った。

- ①四団体長会（1回）
- ②五団体正副長会（1回）
- ③自動車関連団体で構成する千葉県自動車関係機関連絡協議会に参加し、情報交換に努めた。
- ④自動車関連団体で構成する陸運懇話会に参加し、情報交換に努めた。
- ⑤県外業界団体、関係業界との連携強調に努めた。
- ⑥整友会への支援

## 2. 情報化推進対策

- (1) 自動車整備関係諸情報の収集及び提供  
整備市場の現状と動向を継続的に調査し、調査結果を適宜公表・提供することにより組合員事業場の経営の資とした。
- (2) 中小企業関係法令の情報収集及び提供  
企業を取り巻く経済環境、雇用関係の変化に伴う関係法令の改正等について広報誌「轟」に適宜掲載し、組合員の啓蒙を図った。
- (3) ホームページによる情報発信と活用促進
  - ①組合員の皆さんに役立つ各種経営情報等をタイムリーにホームページに掲載し、より迅速な情報提供に努めた。
  - ②商工組合の事業報告書、事業計画書の電子ブック版を作成し、ホームページ上に公開した。
- (4) メールマガジンによる情報配信と活用促進  
重要な業界情報や業界外の話題さらには取扱商品、キャンペーン等を早期に伝達する為、メールマガジン「轟エクスプレス」の無料配信を行った。また、ホームページやFAXで随時配信登録の申し込みを受け、配信数の拡大、活用の促進を図った。
- (5) 広報誌「轟」（インターネット版含む）発行への協力  
振興会の実施する広報誌「轟」の発行に協力し、整備事業に必要な各種情報の迅速な伝達に努めた。
- (6) 日整連ニュース・技術情報の配付協力  
振興会に協力し「日整連ニュース」「技術情報」を組合員に配付、整備事業に必要な各種情報の伝達に努めた。
- (7) 有利な金融情報の収集及び提供  
千葉県が中小企業者向けに実施する融資制度等を広報誌「轟」に掲載し案内した。

## 3. 福利厚生対策

- (1) 組合員に対する慶弔、見舞い等の実施
  - ①組合員慶弔規程により、組合員に対する慶弔、見舞い等を実施した。
  - ②台風（15号、19号、21号）の被害に対し各支部・地区に見舞金を贈った。
- (2) 福利厚生制度「中央会バリュー倶楽部」の利用促進  
全国中小企業団体中央会が運営事務局になっている福利厚生制度「中央会バリュー倶楽部（ベネフィット・ステーション）」を広報誌「轟」に掲載しPRした。
- (3) 千葉県自動車販売整備健康保険組合への協力
  - ①健康保険組合が行っている福利厚生事業に協力した。
  - ②健康保険組合の互選理事を商工組合から派遣した。

## 4. その他

- (1) 一般社団法人千葉県自動車整備振興会が行う事業への協力  
振興会が実施する教育センター建替え（新築）に向けて、職員のプロジェクトにメンバーとして検討に加わった。

## 事業委員会担当事業

### 1. 事業経営基盤強化対策

組合員の経営効率の向上と当組合の経済事業の充実強化並びに組合員の労務、福祉対策の向上及び雇用環境の改善の為、次の事業を実施した。

- (1) 共同経済事業の充実・強化
- ①整備・検査用機器類、油脂類、整備用品等共同購販事業
  - ②中古・リサイクル部品の利用促進
  - ③自動車整備事業に係わる様式、伝票、図書類の販売事業
  - ④共同検査施設利用提供事業
  - ⑤保険代理事業
  - ⑥組合指定事務代行者の利用促進
  - ⑦自動車重量税印紙、登録印紙、収入印紙、郵便切手、郵便ハガキ類の売り捌き事業
  - ⑧自動車税証紙、審査証紙の売り捌き事業
  - ⑨ローン・クレジット事業
  - ⑩組合メリットの研究
- (2) 共済事業の充実・促進
- 組合員の労務福祉対策の向上及び雇用環境の改善を図る為、次の事業を実施した。
- ①日整連自動車整備業賠償共済保険制度（受託車保険）の加入促進
  - ②日整連オアシス生命共済制度の加入促進
  - ③－1日整連ミニ医療保障制度の加入促進
  - ④－2日整連終身医療保障制度の加入促進
  - ⑤特定退職金共済制度の加入促進
  - ⑥てんけん安心見舞金制度の加入促進

### 2. 事業経営支援対策

組合員事業の経営の安定化と活性化を図る為、次の事業を実施した。

- (1) ETCセットアップ事業の推進
- ①四輪車、二輪車用ETCセットアップ登録店の加入促進
  - ②ETC2.0セットアップ登録店の加入促進
- (2) レンタカーによる代車サービスシステムの導入・促進
- 組合員に対してレンタカーによる代車サービスシステムの導入促進を図った。

- (3) スキャンツールの普及促進  
組合員に対して「使用過程車の省エネ性能維持推進事業」の案内を行った。
- (4) 各種セミナーの開催
- (5) 整備事業の経営に関する相談・指導
  - ①新規認証の取得及び指定工場の取得に対して相談に応じた。
  - ②各種補助事業に関する情報提供及び相談に応じた。

### 3. 環境、安全対策

事業場の環境保全及び安全、災害防止の為、次の事業を実施した。

- (1) 環境保全対策の推進
  - ①使用済自動車の適正処理の促進
  - ②産業廃棄物の適正処理の斡旋及び調査
  - ③廃バッテリーの適正処理の促進
  - ④整備用公害防止設備機器等の普及促進
- (2) 安全、災害防止対策の推進
  - ①作業場の安全、環境美化の推進
  - ②整備用機器の安全使用についての指導・推進

### 4. 業界関連事業への協力及び行政協力

一般社団法人千葉県自動車整備振興会の行う事業並びに関係団体・関係行政が行う関連事業に協力した。

- (1) 自動車点検整備推進運動  
自動車点検教室・地域別産業祭等で自動車の点検整備促進のチラシの配付に協力した。
- (2) 点検・整備実施率向上キャンペーン  
点検・整備入庫促進向上キャンペーン「車検・点検ラッキーフェア」のポスターを支所窓口に掲示しPRすると共に、抽選券の配付、回収に協力した。
- (3) 継続検査ワンストップサービス（OSS）  
電子保適証サービス及び代理申請サービスの申し込み受付に協力した。
- (4) 定期点検済ステッカーの利用促進  
定期点検済ステッカーの配付 2, 501, 412枚
- (5) 自動車検査の予約受付及び確認業務
- (6) 自動車税納付状況確認業務  
組合員の利便を図る為、千葉県自動車税事務所の納税確認業務に協力した。
- (7) 「こども110番の店」の普及促進及び周知

新規組合員へのマニュアル、ステッカー、のぼり旗の配付に協力した。

## 教育委員会担当事業

### 1. 専門学校千葉県自動車大学校の運営

自動車整備技術の応用能力向上と人格の形成に努め、自動車業界に有用な実践力に富む人材を育成する為の専門教育を行うと共に、学校運営に必要な事業を行った。

#### (1) 教育計画の実施

##### ①学科、実習授業

一級自動車研究科19期生（1年生）、18期生（2年生）、17期生（3年生）、16期生（4年生）及び二級自動車整備科50期生（1年生）、49期生（2年生）カーメカトロボニクス科1期生に対して計画通り授業を実施した。

##### ②課外授業

課外としての行事を実施した。

##### ③資格取得の為の特別授業

資格取得の為、特別授業（課外含む）を実施、または講習を受講し試験を受験した。

##### ④生活指導

生活指導の為、下記の訓練・指導を行った。

- (a) 規律動作訓練の実施
- (b) 防災避難訓練の実施
- (c) 安全衛生健康管理の指導
- (d) 月間目標の徹底による学習意欲の向上
- (e) 遅刻・欠席者に対して電話・面接等の実施
- (f) 問題のある学生に対する保護者面談の実施
- (g) 社会人としての心構え等の指導

##### ⑤学生クラブ活動

各クラブ活動へ助成、協力を行った。

- (a) 軟式野球部への助成
- (b) 自動車部への助成
- (c) サッカー部への助成

##### ⑥交通安全教育

交通安全教育の為、下記の指導を行った。

- (a) 二輪・四輪自動車通学者の車両チェックと安全指導の実施
- (b) 交通安全運転教室の実施
- (c) 夏休み中の交通安全に対する家庭への連絡
- (d) 自転車通学者への安全指導の実施（ステッカーの貼り付け義務）

##### ⑦登録試験対策

登録試験対策として特別授業を実施した。

#### (2) 学校運営に伴う諸行事の実施

①第50回入学式を実施した。

②第49回卒業証書授与式を実施した。

③入学試験を実施した。

④卒業生（研究科・整備科）は、令和元年度第2回自動車整備技能登録試験を受験した。

(3) 広報、学生募集活動の充実、強化

学生募集及び広報活動として次のことを実施した。

- ①県内の高等学校を訪問しPRの実施
- ②高等学校の校内説明会、模擬授業への参加
- ③会場説明会、情報交換会、連絡協議会等への参加
- ④中学校主催の進路学習会への参加
- ⑤体験入学、学校見学会、保護者対象説明会等の実施
- ⑥入学希望者に対する個別相談の実施
- ⑦中学校、高等学校の職場体験受入等の実施
- ⑧広告媒体の広報誌等へPR記事の掲載
- ⑨ホームページを活用したPRの実施
- ⑩高校生、既卒者を対象としたダイレクトメールの実施
- ⑪CATSカーフェスティバルの実施
- ⑫留学生の募集強化に関する調査、実施
- ⑬学費の負担軽減となる制度の調査と対応
- ⑭その他の募集に関する活動の実施

(4) 就職活動に対する支援

- ①就職関係の情報収集  
整備業界、採用企業ニーズの把握に努めた。
- ②求人依頼  
組員事業所への求人票の配付・回収を行った。
- ③企業説明会の実施
- ④学生への就職指導

(5) 職業実践専門課程の実施

- ①職業実践専門課程認可に伴いホームページに資料を公開した。
- ②教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を開催した。
- ③提携企業による実践的実習を実施した。

(6) 学生生活充実の為の環境整備及び教育設備機器の充実

- ①災害に対応した環境の整備
- ②教育設備の充実
- ③教育教材の充実

(7) 教育関係書籍、試験申請書類等の販売

(8) 指導技術及び資質の向上

職員の指導技術及び資質の向上を図る為、下記の講習会等に参加した。

- ①全国自動車大学校整備専門学校協会主催の「通常総会」に職員を派遣し、情報収集に努めた。

- ②一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会主催の「総会」に職員を派遣し、情報収集に努めた。
- ③千葉県専門学校協会主催の「全大会」に職員を派遣し、情報収集に努めた。
- ④全国自動車大学校整備専門学校協会主催の「新技術・車両診断研修会」に職員を派遣し実務に関する知識・技術の習得向上に努めた。
- ⑤日野自動車株式会社及び販売会社主催の「お客様テクニカルセンター見学会」に職員を派遣し、情報収集に努めた。
- ⑥いすゞ自動車販売株式会社及び販売会社主催の「いすゞグループメカニズム学習会」に職員を派遣し、実務に関する知識・技術の習得向上に努めた。
- ⑦マツダ株式会社「マツダSKYACTIV技術セミナー」に職員を派遣し、実務に関する知識・技術の習得向上に努めた。
- ⑧一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会主催の「中堅職員研修会（メンタルヘルス研修）」に職員を派遣し、職員資質の向上に努めた。
- ⑨トヨタL&F説明会及び産業技術記念館見学会に職員を派遣し、情報収集に努めた。
- ⑩高等教育の修学支援新制度説明会に職員を派遣し、実務に関する知識の習得に努めた。
- ⑪千葉マツダ主催の「社内サービス技術競技大会」に職員を派遣し、情報収集に努めた。
- ⑫千葉スバル株式会社「SUBARU技術研修会」に職員を派遣し、実務に関する知識・技術の習得向上に努めた。
- ⑬一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会主催の「設置者・校長研修会」に職員を派遣し、学校運営に関する情報収集に努めた。
- ⑭全国専門学校協会主催の「管理者研修会」に職員を派遣し、学校運営に関する情報収集に努めた。

(9) 卒業生への情報提供

- ①整備相談及び各種の問い合わせに対する情報提供
- ②一級口述試験合格対策講習
- ③二級自動車整備士登録試験対策講習

(10) 教育施設リニューアルの検討・実施

教育センターの建替えに伴い2号館の実習場にリフトを追加設置するとともに、事務所、教室等が効率よく使用でき、イメージアップとなる方法を検討した。

(11) 組合員向け各種講習の実施

組合員事業場に対して「自動車の振動・騒音故障探求講習」の参加者を広報誌轟で募集したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止とした。

(12) 次世代自動車に対する整備技術の調査、研究

- ①購入した燃料電池車両を使用してレースに参戦する等研究を行った。
- ②人と車のテクノロジー展に職員を派遣し、情報収集に努めた。

(13) 千葉県自動車大学校の創立50周年事業の検討

創立から50年を迎える事から、記念式典の開催と記念誌の発行について、教育委員会で検討、理事会に上程し承認可決した。

## 2. 教育関連事業への協力及び行政協力

一般社団法人千葉県自動車整備振興会の行う事業並びに関係団体・関係行政が行う事業に協力した。

(1) 整備士養成対策

- ①自動車整備士養成講習
- ②自動車整備技能登録試験
- ③労働安全衛生法に基づく講習

(2) 行政協力対策

自動車整備人材確保・育成地方連絡会に参加し人材確保について意見交換を行った。

## 3. その他

(1) 工業系高校人材育成コンソーシアム千葉総会に出席した。

(2) 千葉運輸支局整備部門よる車両の不正改造に関する講習を実施した。

(3) 千葉県現代産業科学館展示運営協力会の総会に出席した。

財産目録、貸借対照表  
損益計算書、剰余金処分案

# 財 産 目 録

令 和 2 年 3 月 3 1 日 現 在

科 目	摘 要	金 額
<b>流 動 資 産</b>		円
現 金	期末現金、手許有高	8,063,158
預 金	当座預金、(株)千葉銀行 本店	86,445,216
	" 習志野台支店	32,042,363
	" 袖ヶ浦支店	38,302,529
	" 野田支店	33,117,609
	(株)千葉興業銀行本店	18,289,662
	(株)商工組合中央金庫千葉支店	6,071,641
	小 計	( 214,269,020 )
	郵便振替、(株)ゆうちょ銀行	4,508,614
	小 計	( 4,508,614 )
	普通預金、(株)千葉銀行本店	4,544,997
	(株)千葉興業銀行本店	3,696,085
	(株)商工組合中央金庫千葉支店	2,694,493
	小 計	( 10,935,575 )
	定期預金、(株)千葉銀行本店	260,000,000
	(株)千葉興業銀行本店	20,000,000
	(株)商工組合中央金庫千葉支店	20,000,000
	小 計	( 300,000,000 )
印 紙 勘 定	自動車重量税印紙期末有高	114,482,200
	自動車検査登録印紙期末有高	23,524,100
	収入印紙、切手類期末有高	1,481
証 紙 勘 定	自動車審査証紙期末有高	15,021,000
	千葉県自動車税証紙期末有高	16,135,700
		529,713,209
		138,007,781
		31,156,700

受取手形	商品売上代	6枚		3,206,084
売掛金	商品売掛先			100,220,027
未収入金	(一社)全国軽自動車協会連合会千葉事務所 重量税印紙代 以下	32件	55,708,600	
	郵便事業(株) 印紙売捌手数料		10,245,396	
	組合員 受託車保険料先月払分		12,815,660	
	〃 月末の事務代行料他	4口	2,166,005	80,935,661
仮払金	大学校、各支所小払資金、つり銭		9,951,381	
	千葉県自動車税事務所 証紙誤表示額他	3口	3,196,000	13,147,381
商 品	期末棚卸高 機械工具		7,672,389	
	用 品		13,432,663	
	オ イ ル		7,652,614	
	様 式 類		5,178,920	33,936,586
流 動 資 産 計				938,386,587

科 目	摘 要	金 額
固 定 資 産 建 物	本部 1号館、千葉県美浜区新港 156、157 鉄筋コンクリート造陸屋根五階建事務所兼会議室 1,683.54㎡ 32,073,364 鉄筋造平家建検査場、調整室 401.82㎡ 2,572,639 鉄筋造平家建倉庫、油脂庫 259.00㎡ 1,471,880 軽量鉄骨プレハブ平家建倉庫 39.20㎡ 1,387,465 小 計 ( 37,505,348 ) 本部 2号館、千葉県美浜区新港 156 鉄筋コンクリート造陸屋根五階建事務所兼教室 工場兼倉庫、実習棟 4,479.55㎡ 89,654,475 鉄骨造平家建実習棟、ピロティ棟 768.37㎡ 46,197,550 軽量鉄骨造平家建倉庫 32.40㎡ 476,551 小 計 ( 136,328,576 ) 教育センター、千葉県美浜区新港171-1 鉄骨造スレート鉄板葺二階建事務所兼教室、実習場 2,629.82㎡ 8,390,658 小 計 ( 8,390,658 ) 習志野支所、船橋市習志野台 8-19-8 鉄骨造三階建事務所 1,232.54㎡ 68,233,391 鉄骨造平家建検査場 527.85㎡ 8,182,128 商品倉庫棟 127.00㎡ 540,299 小 計 ( 76,955,818 )	円 円

建 物 付 属 設 備	袖ヶ浦支所、袖ヶ浦市長浦 580-81			
	鉄骨造平家建事務所	415.00m <sup>2</sup>	12,464,734	
	鉄骨造平家建検査場、整備場	403.79m <sup>2</sup>	11,676,730	
	鉄骨造二階建教育棟	539.50m <sup>2</sup>	11,855,836	
	軽自動車袖ヶ浦出張所	55.00m <sup>2</sup>	5,026,860	
	小 計		( 41,024,160 )	300,204,560
	本部 1号館			
	電気設備		1,232,325	
	給排水衛生設備		2,376,717	
	空調及び換気設備		26,796,017	
	内装設備、補修工事他		5,518,837	
	倉庫設備		2	
	小 計		( 35,923,898 )	
	本部 2号館			
	電気設備		720,789	
	給排水衛生設備		2,237,351	
	空調及び換気設備		27,873,410	
	昇降機、緩降機設備		427,958	
	内外装付属設備		12	
	倉庫設備		5	
	小 計		( 31,259,525 )	
	教育センター			
	電気設備		1,013,194	
給排水衛生設備		400,361		
空調及び換気設備		91,688		
内装設備		96,095		
小 計		( 1,601,338 )		

科 目	摘 要	金 額	
建 物 付 属 設 備	習志野支所	円	
	電気設備	1,267,097	
	給排水衛生設備	508,629	
	空調及び換気設備	2,091,691	
	車輛簡易整備場、旗、ポール他	3	
	小 計	( 3,867,420 )	
	袖ヶ浦支所		
	電気設備	1,123,417	
	給排水衛生設備	6,561,618	
	空調及び換気設備	1,437,521	
	小 計	( 9,122,556 )	
	構 築 物	本部 1号館	
		外溝、門扉、看板、アンテナ等	524,481
		本部 2号館	
		外溝、校名看板	2,053,546
		教育センター	
		フェンス、舗装、門扉等	445,727
習志野支所			
外溝		1	
袖ヶ浦支所			
造園、フェンス、門、構内舗装等		4	
		円	
		81,774,737	
		3,023,759	

機 械 装 置	予備検査用機器		1基	1		
	専門学校、教育センター実習用機器		79基	17,329,113		
	袖ヶ浦支所、教育用機器		8基	8	17,329,122	
車 両 運 搬 具	乗用車18両、小型貨物車10両、 フォークリフト 3両	計	31両		11,139,456	
工 具 器 具 備 品	本部事務室備品		26種	2,952,370		
	千葉支所、営業室、検査場備品		23種	25,640,005		
	専門学校、教育センター整備士教育施設備品		91種	18,426,424		
	習志野支所、営業室、検査場備品		22種	5,132,450		
	袖ヶ浦支所、営業室、検査場、教育棟備品		22種	4,818,703		
	野田支所、検査場備品		9種	622,139	57,592,091	
	土 地	千葉県美浜区新港 155番	1筆	1,694.69m <sup>2</sup>	105,746,085	
		千葉県美浜区新港 156、157番	1筆	4,894.00m <sup>2</sup>	184,649,220	
		千葉県美浜区新港 171番 1	1筆	2,883.98m <sup>2</sup>	209,786,723	
千葉県美浜区新港 223番 18		1筆	255.87m <sup>2</sup>	5,402,906		
船橋市習志野台 8丁目 1980番 以下		9筆	1,969.81m <sup>2</sup>	61,993,000		
八千代市緑が丘西 8丁目10番 8		1筆	518.07m <sup>2</sup>	56,691,940		
袖ヶ浦市長浦 580- 81、83、84		3筆	6,695.70m <sup>2</sup>	160,183,113		
袖ヶ浦市長浦 580- 259		1筆	110.00m <sup>2</sup>	6,001,160	790,454,147	

科 目	摘 要	金 額
建設仮勘定	軽自動車習志野予備検査場の建設及び 教育センター建替えに伴う仮勘定	円 18,874,080
退職給与引当 特定預金	役員退職給与引当特定預金 千葉銀行本店 口座番号 3551388	99,516,456
保証金	日本自動車整備商工組合連合会 ETCセットアップ店登録保証金	4,390,000
	(株)千葉県軽自動車サービスセンター 事務所入室保証金	2,100,000
関係先出資金	(株)商工組合中央金庫	19,000,000
	(株)千葉県軽自動車サービスセンター	3,330,000
	日本自動車整備商工組合連合会	730,000
	ビーピー・カストロール(株)	4,350,000
長期前払費用	(財)自動車リサイクル促進センター 自動車リサイクル料預託金 (組合所有車両分)	610,540
	固 定 資 産 計	1,414,418,948
	資 産 合 計	2,352,805,535

科 目	摘 要	金 額
<b>流 動 負 債</b>		円
買 掛 金	商品仕入代 50口	97,866,609
未 払 金	未払費用 26口	9,981,661
	未払消費税	10,936,500
未 払 費 用	職員の給料手当（締後3/16～3/31分）	12,330,478
預 り 金	職員、顧問、講師等預り金（源泉所得税等）	1,710,794
	大学校学生研修旅行等行事積立金	21,559,174
	共済保険料、脱退企業出資預り金他	5,488,016
前 受 金	令和2年度分千葉県自動車大学校入学者学費等	61,125,000
納 税 引 当 金		802,000
流 動 負 債 計		221,800,232
<b>固 定 負 債</b>		円
預 り 保 証 金	ETCセットアップ店登録保証金	4,300,000
	千葉県自動車販売整備健康保険組合及び （財）日本自動車査定協会千葉県支所 貸室保証金	2,900,000
	自動車重量税印紙等の取引に係る保証金 40件	95,000,000
固 定 負 債 計		102,200,000

科 目	摘 要	金 額
引 当 金 貸 倒 引 当 金 退 職 給 与 引 当 金 事 業 引 当 金 専 門 学 校 金 施 設 引 当 金 会 館 修 繕 等 金 引	当期末残高 〃 〃 〃 〃	円 1,991,000 99,453,965 222,000,000 280,000,000 185,696,200
引 当 金 計		789,141,165
負 債 合 計		1,113,141,397
正 味 資 産		1,239,664,138

# 貸 借 対 照 表

令和2年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
<b>流 動 資 産</b>	938,386,587	<b>流 動 負 債</b>	221,800,232
現 金	8,063,158	買 掛 金	97,866,609
預 金	529,713,209	未 払 金	20,918,161
印 紙 勘 定	138,007,781	未 払 費 用	12,330,478
証 紙 勘 定	31,156,700	預 り 金	28,757,984
受 取 手 形	3,206,084	前 受 金	61,125,000
売 掛 金	100,220,027	納 税 引 当 金	802,000
未 収 入 金	80,935,661		
仮 払 金	13,147,381	<b>固 定 負 債</b>	102,200,000
商 品	33,936,586	預 り 保 証 金	102,200,000
		<b>引 当 金</b>	789,141,165
		貸 倒 引 当 金	1,991,000
<b>固 定 資 産</b>	1,414,418,948	退 職 給 与 引 当 金	99,453,965
建 物	300,204,560	事 業 引 当 金	222,000,000
建 物 付 属 設 備	81,774,737	専 門 学 校 施 設 引 当 金	280,000,000
構 築 物	3,023,759	会 館 修 繕 等 引 当 金	185,696,200
機 械 装 置	17,329,122		
車 両 運 搬 具	11,139,456	<b>負 債 合 計</b>	1,113,141,397
工 具 器 具 備 品	57,592,091		
土 地	790,454,147	<b>資 本</b>	765,185,000
建 設 仮 勘 定	18,874,080	出 資 金	765,185,000
退 職 給 与 引 当 特 定 預 金	99,516,456		
保 証 金	6,490,000	<b>法 定 準 備 金</b>	260,785,000
関 係 先 出 資 金	27,410,000	資 本 準 備 金	22,785,000
長 期 前 払 費 用	610,540	利 益 準 備 金	238,000,000
		<b>剰 余 金</b>	213,694,138
		特 別 積 立 金	212,000,000
		繰 越 利 益	1,233,284
		当 期 利 益	460,854
		<b>純 資 産 合 計</b>	1,239,664,138
<b>資 産 合 計</b>	2,352,805,535	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	2,352,805,535

# 損 益 計 算 書

平成31年4月 1日から  
令和 2年3月31日まで

科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
<b>事業収入</b>			
商品共同購入手数料	137,363,714	法定福利費	60,488,548
売上高	1,004,214,842	福利厚生費	2,159,053
期首棚卸高	36,167,873	退職金	20,410,000
仕入高	864,619,841	旅費交通費	15,622,236
売上原価	866,851,128	消耗品費	19,221,174
期末棚卸高	33,936,586	印刷費	7,709,298
施設利用料収入	168,824,570	通信費	7,898,134
保険手数料収入	9,349,762	渉外費	551,526
事務代 hands 手数料収入	53,227,258	慶弔費	2,208,300
印紙手数料収入	100,848,721	顧問料	3,255,600
証紙手数料収入	3,028,869	租税公課	48,039,190
ローン手数料収入	995,780	図書費	707,957
共済手数料収入	26,952,288	職員研修費	584,864
業務受託収入	44,548,484	雑費	3,382,715
学校事業収入	147,466,500	水道光熱費	17,025,143
会館等利用料収入	49,971,588	修繕費	3,783,620
		会館保守管理費	19,896,377
<b>事業総利益計</b>	<b>742,577,534</b>	損害保険料	3,474,737
<b>事業費及び</b>		賃借料	45,639,718
<b>一般管理費</b>		減価償却費	57,338,450
販売促進費	1,609,856	<b>事業経費計</b>	<b>768,873,401</b>
広報費	18,841,484	<b>事業利益</b>	<b>-26,295,867</b>
調査費	939,698	<b>事業外収入</b>	
研究費	627,426	受取利息	1,914,810
車両費	10,210,148	雑収入	9,313,109
会議費	6,364,792	固定資産売却益	19,999
関係団体負担金	1,905,200	引当金戻入	23,333,902
指導費	6,600,409	<b>計</b>	<b>34,581,820</b>
教材費	5,037,941	<b>事業外費用</b>	
業務受託費	4,980,000	固定資産除却損	833,099
教育諸掛	1,270,324	引当金繰入	6,190,000
商品棚卸損	69,495	<b>計</b>	<b>7,023,099</b>
役員報酬	7,400,000	税引前当期利益	1,262,854
給与手当	291,892,288	法人税等引当額	802,000
賞与	71,727,700	<b>当期利益</b>	<b>460,854</b>

# 剰 余 金 処 分 案

平成 31 年 4 月 1 日 から  
令和 2 年 3 月 31 日まで

	円
当期末処分利益剰余金	
当期利益剰余金	460,854
繰越利益剰余金	1,233,284
合          計	1,694,138
剰余金処分量	
利益準備金	500,000
特別積立金	500,000
合          計	1,000,000
次期繰越利益剰余金	694,138